



<冬の星空>

冬の夜空はとても魅力的です。なんといっても、冬の星座の中には明るい1等星が7個もあって、都会の夜空でもよく見ることができます。今の時期は、夜8時ごろに空をみると、オリオン座がちょうど南の方角に見えています。四つの星に囲まれた中に三つ星が行儀よく並んだ特徴的な形をしています。星空を見たことがない人でもすぐに見つけることがで

南

【こよみと天文現象】

きますので、ぜひ探してみましよう。

<皆既月食>

3月4日の満月は、皆既月食となります。といっても、皆既月食が見られるのは主にヨーロッパ方面で、日本では西日本で欠け始めのごく一部が見えるだけです。月食の始まりは朝の6時30分で、残念ながら大阪では月没の後となってしまうために見ることはできません。

(江越航：科学館学芸員)

月	日	曜	主な天文現象など
2	18	日	●新月(1時) / 旧正月
	19	月	雨水(太陽黄経330°) / 月と金星がならぶ / 月が最近(19時, 361436km) / 変光星くじら座ミラ(2.0~10.1等) 極大のころ
			23
	24	土	●上弦(17時) / 月とすばる・アルデバランがならぶ
	27	火	月とポルックス・カストルがならぶ
3	1	木	月と土星がならぶ
	2	金	月とレグルスがならぶ
	4	日	○満月(8時) / 皆既月食(大阪では見えない)
	6	火	啓蟄(太陽黄経345°)
	7	水	木星が西矩 / 月が最遠(13時, 405194km) / 月とスピカがならぶ
	11	日	月とアンタレスがならぶ
12	月	●下弦(13時) / 月と木星がならぶ	